

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策方針	基本方針 No.	計画書掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和5年度の事業実績		令和6年度の事業の方向性			
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		方向性			
							達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由		
普及・啓発	-	1	「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組	子育て支援課	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	単独型子育て支援センターにおいて、ポスターを掲示する。	B	単独型子育て支援センターにおいて、ポスターを掲示した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	普及のため、ポスター等配布された場合、掲示を行う。
	-	2	「冬の読書キャンペーン」の取組	子育て支援課	「冬の読書キャンペーン」の推進	単独型子育て支援センターにおいて、子どもの読書活動を推進する取組を実施した。	B	単独型子育て支援センターにおいて、絵本の読み聞かせなど子どもの読書活動を推進する取組を実施した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	期間中、単独型子育て支援センターにおいて、読み聞かせ等を実施する。
	-	3	エ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組	資料サービス課	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	家庭に向けて「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発広報活動を行う。	B	「さいたま市子ども読書の日」普及啓発のためポスターの作成、配布、掲示及び図書館ホームページのPR	B	「さいたま市子ども読書の日」普及啓発のため、ポスターを500枚作成し、市立図書館や公民館のほか、保育所や児童センター等にも送付し掲示を依頼した。	B	掲示物やキャンペーン等による普及啓発を継続して行う。
	-	4	オ 「冬の読書キャンペーン」の取組	資料サービス課	「冬の読書キャンペーン」の推進	「冬の読書キャンペーン」の取組を行い、家庭での読書が充実するように働きかける。	B	「さいたま市子ども読書の日」サマーキャンペーンの実施	B	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発のため、小・中学校の夏休み期間に市立図書館25館でブックガーランドの掲示等のイベントを実施したほか、1日図書館員体験や図書館の裏側ツアー等のイベントを実施した。	B	今後も「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発のためサマーキャンペーンを実施する。
	-	5	オ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組	保育課	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	日常の保育や読書活動の中で子どもたちが絵本を楽しむ環境づくりを充実させる。	B	図書館職員や地域ボランティアと連携を図り、「さいたま市子ども読書の日」におはなし会を実施した。	B	各課所と連携し、読み聞かせ講座やおはなし会などの事業を実施した。「さいたま市子ども読書活動優秀実践表彰」で8施設を表彰した。キャンペーンの取組事例をホームページに掲載した。	B	引き続き家庭での読書の充実のため、読書キャンペーン等各課所と連携した取組を実施する。
	-	6	カ 「冬の読書キャンペーン」の取組	保育課	「冬の読書キャンペーン」の推進	ポスターや園だより、掲示板等により保護者に家庭読書の楽しさや大切さを啓発する。	B	ポスターや園だより、掲示板等により保護者に家庭読書の楽しさや大切さを発信した。	B	事業を予定通り実施し、「冬の読書キャンペーン」を保護者に発信することができた。	B	ポスターや園だより、掲示板等により保護者に家庭読書の楽しさや大切さを伝え、保育園で人気のある絵本の紹介やほんの貸出し等を行っていく。
	-	7.1	ア 児童センターでの子ども読書活動の推進	子ども・青少年政策課	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	児童センターにおいて、ポスターを掲示、おすすめの本の展示、本の貸出し等を行い、普及啓発を図る。	B	ポスターを掲示、職員や児童のおすすめの紹介や、新入荷・最新刊コーナーを設定し、啓発を行った。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	推薦図書のほか、利用者リクエスト本を購入するなどし、より多くの利用者が本に接する機会が増えるよう努める。
	-	7.2			「冬の読書キャンペーン」の推進	児童センターにおいて、子どもの読書活動を推進する取組を実施する。	B	季節の絵本を子どもの目線に配架するなど工夫した。また、イベントなどを通し、多様な種類の本に触れる機会を作った。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	ポスター掲示やイベント実施により、啓発活動を継続して行う。
	-	8.1	イ うらわ美術館での子ども読書活動の推進	うらわ美術館	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	企画展の開催に合わせて絵本の読み聞かせ会を実施し、ポスター掲示やSNS等で情報発信を行う。	A	企画展の開催に合わせて「図書館員とボランティアによる絵本の読み聞かせ会」を実施した。併せて、ポスター掲示やSNS等での情報発信を行った。	A	事業を予定どおり実施することができた。参加人数は昨年度74名から大幅に増え、154名の参加が見られた。	C	館内空調設備改修のための休館期間となり、今年度は実施をしない。(来年度は実施予定)
	-	8.2	ウ 公民館での子ども読書活動の推進	生涯学習総合センター	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	市内の小学校向けに「本の出張授業」を行い、本に親しみきっかけづくりをするとともに、冬の読書キャンペーンの普及啓発をSNS等と併せて行う。	A	本の出張授業の際に、市内小学校の児童に向けて担当による啓発を行った。	A	期間中の出張授業の件数が令和4年度の10件から令和5年度の18件と増えたためより多くの子ども達へ啓発することができた。	B	本の出張授業と合わせて、児童生徒が利用している端末内のアプリ等も活用するなどし、より多くの子ども達へ普及啓発ができるようにする。
	-	9.1			「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	公民館内にポスター等を掲示するなど、事業の普及啓発を図る。	B	公民館内にPRポスターを掲示するなど普及啓発を行った。	B	予定どおり実施することができた。	B	引き続き、PRポスターの掲示など普及啓発を行う。
	-	9.2			「冬の読書キャンペーン」の推進	子どもの読書活動推進や保護者への普及啓発活動などの取組を各公民館において実施する。	B	子どもの読書活動の推進に資する事業の実施した。親子で参加できる事業を実施し、保護者への普及啓発にも取り組んだ。	B	予定どおり実施することができた。	B	事業内容の充実を図り、子ども読書活動の推進に資するよう努める。
	-	10.1	ケ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組	教育課程指導課	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	学校図書館内にポスター等を掲示、「さいたま市子ども読書の日」にちなんだ読書活動を各校で工夫して実施する。	B	学校図書館内にポスター等を掲示した。「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発に向け、子ども読書の日にちなんだ取組を各学校で実施した。	B	各学校の実態に応じ、学校図書館司書や司書教諭、図書委員会や図書ボランティアがそれぞれの役割を果たしながら「さいたま市子ども読書の日」を推進することができた。	B	引き続き、ポスター掲示や各学校の実態に応じた方法で普及活動を継続していく。
	-	10.2			「冬の読書キャンペーン」の推進	学校だより、図書館だより等の広報活動を通じて、普及啓発を図る。	B	学校だより、図書館だより等による情報発信を行い、家庭への啓発を図った。	B	さいたま市の小・中・特別支援学校164校中76校で、学校だよりや図書館だより、学校HPにおいて取組についての情報発信を行った。	B	より積極的に、学校だよりや図書館だより、学校HPなどを活用し、家庭への啓発を継続していく。
	-	10.3			「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	「さいたま市子ども読書の日」にちなみ、各校で生徒の読書意欲を高める活動を行う。	B	各クラスにおすすめ本の紹介を掲載したチラシを配布したり、図書館だよりやポスター等を作成したりするなどした。	B	事業を予定どおり実施することができた。	B	今後も図書館だよりやポスター等を通して、啓発に努める。
	-	10.4			「冬の読書キャンペーン」の推進	学校だより、図書館だより等の広報活動を通じて家庭への啓発	B	図書館だよりをホームページにアップし、図書委員のおすすめ本と新刊の紹介を実施した。	B	事業を予定どおり実施することができた。	B	ホームページに図書館だよりをアップし、読書活動の魅力を積極的に発信する。
	-	11.1	コ 「冬の読書キャンペーン」の取組	教育課程指導課	「冬の読書キャンペーン」の推進	子どもたちへの読書の関心を高め、読書をする機会を増やすとともに、学校図書館を活用する取組を行う。	B	児童生徒の読書への関心を高めるため、図書委員会が主体となり、しおりのプレゼント、スタンプカード、図書委員による読み聞かせなどの活動を行った。	B	児童生徒の読書への関心を高めるような企画を図書委員会が主体となって考え、司書教諭や学校図書館司書と協力しながら実施することができた。	B	引き続き、児童生徒のアイデアを生かしながらキャンペーンを推進していく。
	-	11.2			「冬の読書キャンペーン」の推進	各校で学校図書館を活用する取組を行い、生徒の読書への関心を高める。	B	図書委員のおすすめの本を「読書マップ」に記入し、おすすめ本とともに図書館で展示をした。また、貸出期間の延長やくし引き大会を実施するなど、読書に興味を持ってもらえるよう工夫した。	B	事業を予定どおり実施することができた。	B	読書に興味・関心を持ってもらえるように、生徒のアイデアを生かしながら、イベント等を実施していく。
	-	12.1	セ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組	資料サービス課	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発	毎月23日の「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発を行う。	B	PRポスターや図書館ホームページを活用した情報発信	B	PRポスターの掲示や動画の作成を行い、「さいたま市子ども読書の日」を普及啓発するための情報発信をすることができた。(普及啓発回数:218回)	B	「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発を継続して行う。(R6目標:225回)
	-	12.2	ソ 「冬の読書キャンペーン」の取組	資料サービス課	「冬の読書キャンペーン」の推進	「冬の読書キャンペーン」では、特別イベントや展示等を開催し、図書館への来館を促す取組を行う。	B	各図書館で特別イベントや展示等の実施	B	おはなし会、人形劇、本の福袋、保護者向けの読み聞かせ講座などの催し物を各館で実施することにより、図書館への来館を促すことができた。	B	引き続き「冬の読書キャンペーン」を実施し、図書館への来館を促す取組を行う。
-	13	17	子ども読書活動推進のためのSDGs普及啓発	資料サービス課	子ども読書活動推進のためのSDGs普及啓発	本計画で掲げた3つの目標の達成に向けた取組を行うとともに、SDGsの普及啓発を行う。	B	関連絵本の紹介展示やパンフレットの配布	B	中央図書館、北浦和図書館、与野図書館、桜図書館でSDGsに関する資料展示及びブックリストの配布を行い、SDGsへの理解を深める取組を行った。	B	引き続き展示やパンフレットの配布を実施していく。
							B	ホームページコンテンツの更新	B	「こどもSDGs」ページ内で紹介する資料を追加し、公開することができた。	B	引き続きホームページコンテンツの拡充を図る。

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	基本方針	No.	計画書掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和5年度の事業実績		令和6年度の事業の方向性		
								内容(権数ある場合は分けて記入してください)		方向性		
								達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由	
(1) 家庭での取組		14	19	ブックスタートの推進	子育て支援課	ブックスタート事業	単独型子育て支援センターにおいて、絵本などが入ったブックスタートパックの配布及び読み聞かせや本の選び方をアドバイスする。	B	事業を予定通り実施することができた。(対象者数9,624人、引換者数9,540人、引換率99.1%)	B	年間を通じて、ブックスタートパックの配布及び読み聞かせ等継続実施する。	
		(1)(2)		イ 「家読(うちどく)」の推進	資料サービス課	「家読(うちどく)」の推進	家庭での読書活動が充実していくように、家庭に向けて情報発信や支援を行う。	B	定番児童書リストの配布を全館で継続して実施した。子育て世代向け図書館案内(北浦和図書館、大宮西部図書館)やおすすすめ本を紹介する「みんなのおすすすめBOOK2023」を家読応援コンテンツ内に作成し、公開した。	B	定番児童書リストの配布を全館で継続して実施する。家読応援コンテンツを増やし、情報を発信していく。	
		(1)(3)		ウ 家庭での読み聞かせの支援	資料サービス課	家庭における発達段階に応じた読み聞かせ活動の普及啓発	家庭における発達段階に応じた読み聞かせの充実を図るとともに、保護者等が子どもの読書に関わることができるよう取組を行う。	B	「とじ丸読書手帳」を増刷し、市内各図書館の窓口及びおはなし会等のイベントで配布した。	B	引き続き読書手帳の配布を行う。	
		(2)				子どもと本を楽しむためのコンテンツの作成・PR	子どもと本を楽しむため案内ページを図書館ホームページに作成し、情報発信を行う。	B	図書館ホームページ内の「とじ丸チャンネル」において、子育て世代が子どもと本を楽しむための情報発信をすることができた。	B	引き続きホームページコンテンツを充実させるとともに、子育て世代に向けたデジタルコンテンツの配信等に向けて調査研究を行う。	
						保護者向けの読み聞かせ講座の実施	保護者向けに読み聞かせ講座の実施	B	「たかおゆうこさんが語る絵本のみつみつ〜子どもから大人まで絵本を楽しむ〜」(武蔵浦和図書館)を実施し、読み聞かせについて理解を深めてもらうことができた。	B	引き続き保護者を対象とした講座等を実施し、家庭での読み聞かせ支援に取り組んでいく。	
(2)					B	図書館ホームページ内の「とじ丸チャンネル」において、子育て世代が子どもと本を楽しむための情報発信をすることができた。	B	引き続きホームページコンテンツを充実させるとともに、子育て世代に向けたデジタルコンテンツの配信等に向けて調査研究を行う。				
(2) 保育所・幼稚園での取組		17	21	ア 絵本に親しめる環境づくり	保育課	絵本等の読み聞かせの実施	日常の保育の中に、絵本等の読み聞かせの機会を多くつくる。	B	日々の保育の中で絵本等の読み聞かせを実施した。	B	絵本の読み聞かせを通じて想像する喜びや言葉への興味・関心をはくむ。	
		(2)		イ 保護者へ読み聞かせの大切さを発信	保育課	園だより等による読み聞かせの普及啓発	保護者に子どもへの読み聞かせの大切さを伝えるほか、絵本の紹介等も行う。	B	保護者に子どもへの読み聞かせの大切さを伝えるほか、絵本の紹介等も行う。	B	保護者に園だより・クラスだより・懇談会・掲示板等で絵本の紹介や読み聞かせの大切さを伝えていく。	
		(2)				1日保育士体験等を通じた読書活動の啓発	1日保育士体験・保育参加を通して、読み聞かせの大切さや親子のかかわりの楽しさを伝える。	A	1日保育士体験や保育参加の中で絵本等の読み聞かせを行い、保護者にも読み聞かせの体験をしてもらった。	B	1日保育士体験・保育参加の中で保護者に絵本等の読み聞かせを体験してもらい、体験を通して子どものかかわりの楽しさを伝える。	
		(3)		ウ 地域との連携推進	保育課	地域ボランティアによる読み聞かせ等の実施	地域との連携を図り、おはなしボランティアによる読み聞かせやストーリーテリング等を行う。	B	地域ボランティアによる読み聞かせ等を実施した。	B	引き続き、地域ボランティアと連携を図り、事業を継続する。	
		(3)				地域支援事業	子どもの年齢に合わせた絵本の紹介、パネルシアター等を通じて、地域の保護者にはおはなしや絵本の楽しさを伝える。	B	地域子育て支援センターに來園した親子への絵本・紙芝居の読み聞かせを実施した。	B	引き続き、地域子育て支援センターにて読み聞かせの時間を設け、親子とともに楽しめる時間をつくる。	
		(3)				資料サービス課	「図書館ブックリストパック」の提供・PR	保育所や幼稚園での読み聞かせに役立つブックリストパックや貸出し等、本選びや貸出し等に活用してもらう。	B	ブックリスト「本は王さま」の作成・配布のPR方法を再検討	B	保育園・幼稚園でブックリストを活用してもらえるよう案内を送付する。
		(3)		エ 読み聞かせ活動を充実させるための図書館の活用	保育課	図書館職員によるおはなし会を実施	図書館と連携を図り、図書館職員による読み聞かせ等を行う。	A	図書館職員による読み聞かせ等を実施した。	A	引き続き、図書館職員と連携を図り、事業を継続する。	
		(3)				図書館の団体貸出サービス利用	図書館と連携を図り、たくさんの絵本等に触れる機会を作る。	A	図書館での絵本の貸出しサービスを利用した。	A	引き続き、絵本等に親しむ機会を設けていく。	
		(3)		キ 保育士を対象とする研修の実施	保育課	保育士を対象とする研修の実施	保育士の資質向上のため、読み聞かせなどの研修会を実施する。	-	研修会未実施のため。	C	研修の実施なし。	
		(3) 地域での取組			22	23	単独型子育て支援センターでの子ども読書活動の推進	子育て支援課	単独型子育て支援センターにおける読み聞かせ等の実施	単独型子育て支援センターにおいて、読み聞かせや本の選び方をアドバイスする。	B	事業を予定通り実施することができた。
(1)	ア 児童センターでの子ども読書活動の推進		子ども・青少年政策課		児童センターにおける読み聞かせ等の実施		職員やボランティアによる読み聞かせ、本の閲覧や貸出しなど、来館者が楽しく読書に対する興味がわくような取組を実施する。	B	ボランティアによる読み聞かせや、図書の出出しの再開。また、推薦図書等の展示・紹介をし、本に親しむ機会を提供した。	B	ボランティアの受け入れを継続しつつ、引き続き図書に親しむ機会を設けていく。	
(3)	資料サービス課		読み聞かせボランティア向け講座の開催		児童センターと連携し、児童センターで活動する読み聞かせボランティアに向けて支援を行う。		B	「ストーリーテリング講座」及び「読み聞かせスキルアップ講座」のチラシを児童センター18施設へ配布した。	B	引き続き児童センターで活動するボランティアへ講座の情報提供を行い、活動を支援していく。		
(1)	ウ 公民館での子ども読書活動の推進		生涯学習総合センター		うらわ美術館での子ども読書活動の推進	うらわ美術館	本の出張授業の実施	市内の小学校向けに「本の出張授業」を行う。	A	造形的でユニークな本を用いて鑑賞授業を行い、本への興味関心を高めることができた。	B	学校へ向けて、積極的に普及活動を行い、より多くの子どもたちに楽しんでもらうよう努める。
(2)					「親の学習事業」において、子どもの読書に関する講座を開催	親の学習事業において、「絵本をツール」とした学習プログラムなどを行う。	B	「親の学習事業」を実施する際に、図書館職員による読み聞かせプログラムなどを行う。	B	予定どおり実施することができた。	B	「親の学習事業」において、読み聞かせなど子どもの読書に関する学びを取り入れた事業を行っていく。
(1)					地域ボランティア等による読み聞かせやおはなし会の実施	地域ボランティアによる読み聞かせやおはなし会を実施。	B	地域ボランティアによる読み聞かせや「おはなし会」を行った。	B	予定どおり実施することができた。	B	ボランティアと連携し、引き続き事業を実施する。
(1)					公民館文庫活動の実施	ボランティアによる本の貸出しや読み聞かせ、工作などを実施。	B	ボランティアによる本の貸出しや読み聞かせを行った。	B	予定どおり実施することができた。	B	ボランティアと連携し、引き続き事業を実施する。
(1)					図書館職員によるおはなし会を実施	図書館と連携し、図書館職員によるおはなし会を実施。	B	図書館と連携し、図書館職員による「おはなし会」を行った。	B	予定どおり実施することができた。	B	図書館と共催や連携をし、引き続き事業を実施する。
(3)					資料サービス課	読み聞かせボランティア向け講座の開催	公民館と連携し、公民館で活動する読み聞かせボランティアに向けて支援を行う。	B	「ストーリーテリング講座」及び「読み聞かせスキルアップ講座」のチラシを公民館59館へ配布した。	B	公民館で活動する読み聞かせボランティアへ講座の情報提供を行い、活動を支援していく。	

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定より大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	基本方針	No.	計画書掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和5年度の事業実績		令和6年度の事業の方向性				
								内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由	
								達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由			
(4) 学校での取組	ア	26.1	25	学校図書館の環境整備	教育課程指導課	学校図書館の環境整備	児童生徒の主体的な読書活動や学習を支援できるように、図書の配架、推薦図書の展示、室内レイアウト等の環境整備に努める。	各学校における学校図書館の環境整備の実施	B	司書教諭と学校図書館司書、図書ボランティアなどが連携を図りながら、配架図の工夫や他の教育活動(国語科、さいたまSDGs教育等)との関連を意識した環境整備が行われた。	B	引き続き、学校の実態に応じ、環境整備を実施していく。		
		26.2					「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」による読書活動の実施	「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」を活用し、子どもたちの読書活動の充実を図る。	「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」をいつでも活用できるよう、児童生徒用ポータルサイトに掲載し、読書活動の充実を促進した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	引き続き、児童生徒用ポータルサイトに掲載した電子パンフレットを活用しながら読書活動の充実を図る。	
	イ	27.1	26	読書習慣の形成と自主的な読書活動の活性化	教育課程指導課	読書イベントの実施	「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」による読書活動の実施(再掲)							
		27.2					ビブリオバトル等読書イベントの実施	各学校において、ビブリオバトル等の読書イベントを実施する。	各学校において、ビブリオバトル等の読書イベントを実施し、図書館日より等活動の紹介を行った。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	引き続き、学校の実態を踏まえながら実施していく。	
		27.3					全校一斉読書の実施	各学校において、全校一斉読書を実施する。	各学校において、全校一斉読書を実施した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	引き続き、学校の実態を踏まえながら実施していく。	
	ウ	28.1	26	学校図書館を活用した授業などの学習指導の充実	教育課程指導課	学校図書館司書・司書教諭等の研修実施	学校図書館司書・司書教諭の研修会を実施し、組織的な学校図書館教育推進体制の充実を図る。	学校図書館司書研修会、司書教諭説明会を実施し、組織的な学校図書館教育推進に向けての説明と協議を行った。	B	市立小・中・中等教育・特別支援学校の学校図書館司書と司書教諭を対象に、事業を実施することができた。	B	学校図書館司書や司書教諭の実態や要望を踏まえながら実施していく。		
		28.2					学校図書館活用事例の共有	蔵書の共同利用を中心とし、学校図書館活用の事例を共有する。	蔵書の共同利用を中心とし、学校図書館活用の事例を研修会で共有した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	学校図書館司書や司書教諭の実態や要望を踏まえながら実施していく。	
		28.3					SDGsなど現代的課題に関連する蔵書の充実	各学校において、現代的課題に係る蔵書の充実を図るとともに、特色のある蔵書整備を推進する。	各学校において、SDGsに関する蔵書を整備し、展示を工夫することで貸出しや授業での活用を促進した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	引き続き、情報センター・学習センターとしての機能を踏まえ、蔵書の充実を努めていく。	
		28.4					SDGsなど現代的課題に関連する蔵書の充実	現代的課題に関連する蔵書を充実させることで、生徒の日常の課題の解決につなげる。	様々な媒体の出版情報や書評等から情報収集を行い、授業との関連を意識しながら、毎月新たに購入している。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	教職員と連携し、探究的な学習にも資するよう、蔵書の充実を努める。	
	エ	29	29	学校図書館コンピュータの整備による機能的な学校図書館運営の支援	教育研究所	学校図書館のICT環境整備	耐用年数を経過した学校図書館コンピュータの入替を順次行い、機能的な学校図書館運営に努める。	市内13校の小学校の学校図書館コンピュータの入替を行い、学校図書館運営の機能性を向上させた。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	学校図書館システムセンターサーバの更改が令和7年度となっているため、次期システムの仕様を検討する。		
	オ	30	30	学校図書館ネットワークの充実	教育課程指導課	学校図書館資源共有ネットワーク事業	学校と公共図書館、教育研究所を結ぶネットワーク便を運行する。	学校と公共図書館、教育研究所を結ぶネットワーク便を運行した。	B	市立学校と公共図書館、教育相談室、教育研究所を結ぶネットワーク便の運行を実施した。	B	引き続き、学校の実態に応じた資源の共有ができるよう実施していく。		
	カ	31	27	保護者や地域のボランティアとの連携による学校図書館の充実	教育課程指導課	家庭や地域との連携による読書イベントの実施	各学校における学校図書館環境整備や読書活動における保護者や地域のボランティアの活用を図る。	各学校の実態に応じて保護者や地域のボランティアを活用した読書活動の充実を図ることができた。	B	読み聞かせや環境整備、蔵書点検等、予定通り実施することができた。	B	引き続き、学校の実態を踏まえながら実施していく。		
	キ	32.1	27	市立高等学校の読書活動の推進	高校教育課	ビブリオバトル等読書イベントの実施	読書イベントを学校と連携して実施し、生徒の読書のきっかけや読む本の幅を広げることにつなげていく。	ビブリオバトルを図書委員会が中心となって実施した。活動の具体的な様子は、図書館だよりに掲載した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	今後もビブリオバトル等のイベントの内容のいっそうの充実を図り、生徒の読書活動の推進に資する。		
		32.2					市立高等学校における市立図書館と連携した取組の実施	生徒の読書離れの対策を市立図書館と連携して取り組んでいく。	「市立高校POPバトル」を開催し、生徒が選んだおすすめの本をオリジナルPOPとともに展示した。また、「さいたま市図書館利用カード」の訪問登録などを実施した。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	市立図書館と連携し、イベントの活性化を図り、生徒の読書への興味・関心を高める。	
ク	33	28	「子ども読書の日」に関する取組の充実	教育課程指導課	「子ども読書の日」に関する取組の実施	各学校において、「子ども読書の日」に係る読書イベントを実施する。	図書委員会が主体となり、特別貸出しやしよりの配付などの企画を通じ、図書館の積極的な利用を促すことができた。	B	事業を予定通り実施することができた。	B	引き続き、学校の実態を踏まえながら実施していく。			
ク	34	29	読書環境の整備・充実	資料サービス課	読書環境の整備・充実	乳幼児期～青年期までの発達段階に応じた資料の収集をする。学習指導要領の改訂やSDGsなど子どもを取り巻く社会変化にも対応できる蔵書構成に努める。	児童書の見計らい選定会議の定期的な実施、及び子どもを取り巻く社会変化にも対応できる蔵書構成に努めた。	B	各図書館の児童・地域担当職員を集め、児童書の見計らい選定会議を毎週金曜日、年間47回実施し、子どもの成長と子どもを取り巻く社会変化に合わせた適切な資料を収集した。	B	引き続き、定期的に児童書の見計らい選定会議を実施し、精選した児童書収集を行う。また、社会情勢を踏まえた蔵書構成に努める。			
ク	35	30	電子書籍サービス等の充実	資料サービス課	電子書籍サービス等の充実	児童書の電子書籍の選定・提供を行う。ICTを利用したデジタルコンテンツの充実を図る。	児童書の電子書籍の選定・提供 デジタルコンテンツの充実	B B	児童書の電子書籍を選定し、1,246冊を提供した。 図書館ホームページ内「とよ丸チャンネル」において、絵本の読み聞かせ動画や、図書館見学、工作の紹介などのデジタルコンテンツを公開し、子どもたちが本を楽しみ、図書館に親しむための情報発信をすることができた。	B B	引き続き電子書籍コンテンツの充実を図る。 引き続きICTを活用したコンテンツの充実を図る。			
ク	ウ	36.1	30	本や図書館に親しむイベントの開催	資料サービス課	図書館ボランティア体験プログラム(リブサポ)の実施	中・高校生を対象に、図書館ボランティア体験プログラム(リブサポ)を実施し、読書や図書館利用についての関心を高める。	市内全10館でリブサポを実施し、本の修理や本の紹介カード作り等の体験プログラムを実施した。	B	市内10館(中央・大宮西部・大宮・与野・北浦和・東浦和・北・春野・桜・武蔵浦和)で開催した。延べ150名の中高校生が参加し、読書や図書館利用についての関心を高めることができた。また、生涯学習情報システムを利用したweb申込みと抽選制を導入した。	B	引き続き生涯学習情報システムを利用したリブサポを実施する。		
							36.2	小学校中学年を対象とする取組の強化	小学校中学年を対象に本好きになる取組を行う。	おはなし会の実施	B	小学校中学年を対象に含むおはなし会を全館で594回開催し、幼児・小学生延べ6490人が参加した。	B	引き続き小学校中学年が本好きになるよう、取組を継続する。
							36.3	ビブリオバトルイベントの拡充	ビブリオバトルイベントを各拠点図書館で開催する。	ビブリオバトルイベントを開催した	B	市内7館(中央、与野、北、大宮、武蔵浦和、南浦和、東浦和)でアニメーションのイベントを合わせて10回開催し、小学校中学年を含む児童延べ144人が参加した。 R4開催実績:4館(中央、大宮、与野、与野南)	B	小学校中学年を対象に、各図書館でアニメーションを実施していく。
							36.4	おはなし会等の実施	読書や図書館の利用について、子どもたちの興味や関心を高めるイベントを開催する。	おはなし会やイベントの実施	B	中央図書館と東浦和図書館でビブリオバトルイベントを開催した。延べ71人が参加し、ビブリオバトルを通して読書を楽しんでもらうことができた。 各拠点館においてビブリオバトルイベントを行えるよう職員研修を実施	B	引き続き、拠点館での開催及び学校へのサポートを継続していく。 ビブリオバトル研修を実施し、各拠点館職員にビブリオバトルの楽しさを感じてもらいながら、イベント開催のノウハウを伝えることができた。

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定より大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	基本方針	No.	計画書掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和5年度の事業実績		令和6年度の事業の方向性							
								内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由				
								達成度	理由	理由	理由						
(5) 図書館での取組	エ	37.1		本や図書館に関する情報発信の充実	資料サービス課	小学校中・高学年を対象とする取組の強化	図書館ホームページで、本を読むことが好きになるような情報発信を行う。	小学生向けのwebコンテンツの拡充	B	図書館ホームページ内に読み聞かせ動画等の小学生向けコンテンツを7件作成し、情報発信を行った。	B	引き続き小学生向けwebコンテンツの充実を図る。					
							SNS等を活用した中高生向けの読書案内の発信	SNS等を活用して、本への関心を高める取組を行う。	新規SNS媒体の検討	B	市立高校で活用しているSNS媒体に「はび」を掲載した。高校との交換展示は図書館HPに掲載して情報発信を行った。	B	引き続き、webコンテンツの充実を図る。				
							読書案内など刊行物の発行	ブックリストや情報誌を作成し、各図書館で配布する。市立小・中・高等・中等教育学校等へ情報提供する。	ブックリスト「本は王さま」の作成・配布	B	子ども読書の日を記念して「本は王さま2023」を4,500部発行し、図書館ホームページ上に公開した。また、「本は王さま2024」の作成を行った。毎年新しく出版される児童書の中から図書館員が選ぶおすすめの本を紹介することができた。	B	「本は王さま2025」の編集・作成を行う。				
								ブックリストや情報誌を作成し、各図書館で配布する。市立小・中・高等・中等教育学校等へ情報提供する。	小学生向け読書案内「とよ丸くんぶん」の作成・配布	B	年2回(7月、1月)、各1,200部発行し、各図書館、市立小学校で配布を行うとともに、図書館ホームページ上に公開した。図書館ホームページ限定で公開する号外を作成し、公開した。	B	年2回の作成を継続して行う。				
									「Happy go lucky(はび)」の作成・配布	B	年3回(4月、7月、11月)、各1,400部発行し、各図書館、及び市立中学校・高等学校で配布を行うとともに、図書館ホームページ上に公開した。	B	年3回の作成を継続して行う。				
	オ	38	31		さいたま市ゆかりの児童書の収集と紹介	資料サービス課	「さいたまゆかり」コーナーの充実	石井桃子と瀬田真二を中心に、さいたま市ゆかりの児童文学者の著作や関連資料の収集、展示、講演会や紹介を行う。	図書館ホームページを活用した情報発信	C	図書館ホームページで新たな情報発信はできなかったが、「さいたまゆかりの文学者」のページを掲載する準備を行った。中央図書館で、ボランティアとの連携で児童文学者・石井桃子をテーマとした交流会を実施したほか、北図書館では、石井桃子、瀬田真二を中心にゆかり作家の本をテーマにしたブックトークを行うなどPRを行った。	B	引き続き図書館ホームページを活用した情報発信を行うとともに、資料の収集、展示や紹介を行う。				
								カ	障害のある子どもへのサービスの充実	資料サービス課	バリアフリーサービス	読書に障害のある子どもたちに、障害に応じた読書サービスを行う。	ボランティア団体による点訳絵本の作成	B	中央図書館等のボランティア団体の協力により、56冊(昨年度58冊)の絵本を点訳した。	B	引き続きボランティアグループと連携し、点訳絵本の受入れを進め、資料の充実を図る。
												特別支援学校・特別支援学級を対象とするおはなし会の実施	特別支援学校への訪問や図書館への招待を行い、市内図書館で2回(昨年度2回)、延べ20人(同20人)に集会行事を行った。	B	引き続き学校からの依頼に応じて随時実施する。		
	キ	40			多文化・多言語サービスへの取組	資料サービス課	多文化・多言語サービス	日本語を母語としない子どもたちや日本の子どもたちに向けて、児童向けの外国語資料の収集や多言語によるおはなし会を開催する。	外国語資料の収集	B	各館合計で270冊(昨年度123冊)の外国語児童書を新たに受け入れた。	B	引き続き各館で資料の収集を行う。				
								外国語資料の展示	B	各館で年度中合計3回(昨年度1回)、外国語絵本等の展示を行った。	B	引き続き各館で資料の展示を行う。					
								外国語によるおはなし会の実施	B	各館で合計9回(昨年度7回)実施し、延べ119人(昨年度79人)が参加した。	B	引き続き各館で多言語おはなし会を実施していく。					
	ク	41.1			保育所・幼稚園との連携の推進	資料サービス課	「図書館ブックリストパック」の提供・PR(再掲)	保育所や幼稚園を対象に、訪問招待事業を行い、絵本の貸出しを行う。	保育所や幼稚園の園児を対象としたおはなし会の実施	B	各図書館において保育所や幼稚園等を対象に訪問を143回(昨年度126回)、招待を6回(昨年度6回)行い、延べ5,949人(昨年度4,124人)の園児におはなし会を行った。	B	園児がおはなし会や絵本に親しみを持つように、引き続き保育所や幼稚園と連携していく。				
								保育所や幼稚園への団体貸出	各図書館において、保育所や幼稚園を対象に絵本を5,020冊(昨年度5,146冊)の貸出しを実施した。	B	引き続き保育所や幼稚園への団体貸出を実施する。						
								団体利用者カードの登録を受け付け、団体貸出サービスを推進する。	団体利用者カードの登録受付	B	保育所や幼稚園の団体利用者カードを新規で22件受付した。	B	団体利用のPRや資料の提供を引き続き行う。				
								公民館との連携の推進	公民館と連携し、家庭へ向けたイベントを開催する。	公民館と連携したイベントの開催	B	おはなし会や映画会等、市内で公民館と連携したイベントを34回を開催し、延べ465人が参加した。	B	引き続き公民館と連携し、家庭へ向けたイベントを開催します。			
コ	43.1			学校との連携の推進	資料サービス課	市立小学校全1年生に読書手帳を配布	児童が意欲的に読書活動に取り組めるように、市立小学校全1年生に「とよ丸くんぶん」を配布する。	市立小学校全1年生に読書手帳の配布	B	「とよ丸くんぶん」を市立小学校1年生に全員配布した。	B	市立小学校全1年生に「とよ丸くんぶん」を配布する。					
							小学校中・高学年を対象とする取組の強化	学校と連携し、小学校中・高学年を対象に含む取組を行う。	小学校中・高学年を対象に含む読書イベントの開催や学校での読み聞かせ、本の貸出しを行った。	B	市内図書館で小学校中・高学年を対象とした学校訪問を1回開催し、56人に絵本の読み聞かせやブックトーク等を行った。	B	小学校中・高学年を対象に含む読書イベントの開催や学校での読み聞かせ、本の貸出しを行う。				
							ビブリオバトルイベントの拡充	学校や図書館等でビブリオバトルを実施する機会が増えるように学校と連携し拡充を図る。	学校と連携した取り組みを行うための体制を整える	B	学校と連携した取り組みを行うため、ビブリオバトルマニュアル「みんなで楽しむビブリオバトル—学校向け実践ハンドブック—」及び「すぐできるキット」を配布した。	B	引き続き学校との連携を呼びかけていく。				
							学校との連携の推進	読書手帳の配布	B	「とよ丸くんぶん」の配布を学校と連携して実施し、市立小学校1年生には全員配付した。	B	子どもが読書週間を身につける手段の一つとして、読書手帳の配布を進めていく。					
								職場体験の受入れ	B	各図書館で職場体験学習のため、191人(昨年度212人)を受け入れた。	B	図書館を深く知り、職場体験として学ぶ機会となるよう、引き続き受け入れを実施する。					
サ	44			学校図書館への支援の充実	北浦和図書館	学校図書館支援センター事業	資料の収集を行った。	B	教科に沿った内容の資料の購入を行った(808冊)。特に、令和6年度の小学校の教科書改訂に合わせて、掲載資料の購入を重点的に行った。	B	資料の収集を継続して行う。						
							対象施設への団体貸出を行った。	B	市立小・中・高等・中等教育学校及び特別支援学校、教育相談室等へ団体貸出を行った(21,016点)	B	対象施設への団体貸出を計測して行う。						
							対象施設へのレファレンス支援を行った。	B	レファレンス支援を行った(5件)。	B	対象施設へのレファレンス支援を継続して行う。						
シ	45			子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援	資料サービス課	子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援	『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』、『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』の配布	B	『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』及び『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』を各図書館で配布した。	B	引き続き、読み聞かせボランティアを対象とするブックリストを配布する。						
							読み聞かせボランティアを対象とした読書指導や講座の開催	B	各図書館において講座を開催したり、図書館職員が学校の読み聞かせボランティアを指導したりするなど、延べ43回(昨年度37回)実施し、445人(同398人)が参加した。	B	ボランティアの経験年数に見合う指導により、スキルアップが図れるように、指導的役割を担えるボランティアグループと連携しながら、支援を行う。						

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	基本方針	No.	計画書掲載職員	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和5年度の事業実績		令和6年度の事業の方向性			
								内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
	(3)	46	33	ス 児童サービス担当職員の養成	資料サービス課	児童サービス担当職員の研修	児童サービス担当職員を育成するため、内部研修を実施する。また、外部研修への参加を促す。	児童サービス担当者研修会の実施	B	児童サービス担当者向け研修を年間6回計画し、開催した。	B	経験や情報の共有を図り、各館における案内や集会行事に役立つよう、年4回以上の研修会を開催する。	
								児童サービス研修会への参加	B	各館から年間5回開催される埼玉県図書館協会主催の研修会に参加した。	B	児童担当職員が基礎的な知識や技術を身につけられるよう、今後も研修への参加を促していく。	
								児童図書館員養成専門講座への参加	B	図書館から1名、日本図書館協会主催の研修会(前期・後期)に参加した。	B	指導的役割を果たせる児童担当職員を育成するため、今後も研修会への参加を促していく。	
計画の進行管理	-	47	15	さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査	資料サービス課	さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査	調査を毎年実施し、事業の充実を図る。	「さいたま市子ども読書活動推進計画」に関わる所管課の事業実施状況の調査と、さいたま市ホームページでの公開	B	各課の取り組み状況を取りまとめ、フィードバックすることで、現状の課題認識と次年度以降の目標設定に役立てることができた。	B	各種の取組状況を取りまとめ、フィードバックすることで、現状の課題と次年度以降の目標設定に役立てる。	
	-	48		読書調査(市立小・中・高等・中等教育学校対象)	資料サービス課	読書調査の実施	市立小・中・高等・中等教育学校を対象に読書調査を実施する。	市立小・中・中等教育学校を対象にした読書調査を、さいたま市学校状況調査により実施	B	昨年度に引き続き、全校調査により小・中学生の読書状況を調査した。	B	継続して調査を行う。	
								市立高等学校を対象とした読書調査を図書館のアンケート調査により実施	B	市立高等学校3校を対象に、抽出により高校生の読書状況を調査した。	B	継続して調査を行う。	